

# 温泉病院だより⑧

発行：医療法人 協和会 協立温泉病院  
 編集：協立温泉病院 広報委員会  
 医療法人協和会  
**協立温泉病院**  
 Kyoritu Onsen Hospital  
 川西市平野1丁目39番1号  
 ホームページアドレス  
 WWW.kyowakai.com

「医療相談室」の名称が  
 「地域医療福祉相談室」  
 に変わりました。

「医療相談室」は、平成十六年十一月十一日より「地域医療福祉相談室」に名称を変更いたしました。

名前が変わってもサービス内容は、今までと変わりませんが改めてその役割を紹介させていただきます。

当院の地域医療福祉相談室では、患者様の療養に伴う様々な心配事や、ご不安等について専門の職員がご相談をお受けし、総合的に問題解決のお手伝いをさせていただいております。

たとえば

- ・この病院に入院するにはどうすればよいの？
- ・入院中の医療費が少しでも安くなる方法があるかしら？
- ・身体障害者手帳や介護保険等の申請はどうすればよいの？
- ・介護保険はどんなことをしてくれるの？
- ・入院生活での不安や意見は誰にいうの？
- ・退院後の行き先がわからない。また在宅療養ではどういう援助が受けられるの？ 等々

誰に相談していいかわからない時も、私たちにお声をかけてください。必要に応じて院内各部署、また地域の医療・福祉・介護の事業所と連携して援助させていただきます。秘密は守ります。

相談は無料です。

相談受付時間は、午前八時三十分から午後四時ですが、ご都合により時間外であっても、前もってご連絡いただければ、調整させていただきます。どうぞご利用ください。



地域医療福祉  
相談室  
一同



## 四階北病棟紹介

この四月に病棟を移り、半年がたちます。今までの立場と異なり、戸惑うばかりの毎日でしたが、半年たった今、自分たちの考えを持って、がんばるスタッフに支えられ私自身も前を向いていくことができています。

この病棟での出来事をひとつとして、毎週水曜日にはレクリエーション活動を行っています。

ある水曜日ボランティアによる回想法を行いました。なつかしのビデオを見ながら、自分達の若かった頃を思い出して語っていただくというものでした。サポートに職員も参加しましたが、これがボランティアの方より面白い口調で患者様を上手に誘導し、患者様だけでなく、ボランティアの方やサポートしていたスタッフまでが、笑いをこらえることが出来なかつたということがありました。

患者様にとって笑いということは、単純な生活に活気を与えるものであり、長期入院となる患者様にとってはとても大切なことだと思います。週一回では有りますが、このような形でスタッフの協力を得ながらがんばっています。

課長代理 山西文子

### 「患者様の権利」に関する宣言

#### 平等で適切な医療を受ける権利

患者様には、差別される事なく適切な医療を受ける権利があります。

#### 自己決定の権利

患者様には、十分な説明のもと医療行為を選択・拒否する権利があります。

#### 情報を知る権利

患者様には、医療に関する情報を知る権利があります。

#### 秘密保持を得る権利

患者様には、医療従事者が知り得た全てのプライバシーを守られる権利があります。

#### 尊厳を得る権利

患者様には、いかなる時にも尊厳をもって扱われる権利があります。

### 看護部の理念

豊かな心 心の看護

#### 看護部の方針

看護職者としての専門的技術、知識を駆使した質

の高い看護を提供する。

私達はこの使命をもって患者様との信頼関係を築

き、人間性を尊重すると共に、関係部署、地域と

の連携を深めて安心と満足を提供する。

### 病院理念

愛と信頼で築く医療

#### 基本姿勢

私たちは、こころがふれあう温かい医療を提供いたします。

私たちは、患者様の選択に基づく医療に努めます。

私たちは、専門知識の修得と技能向上に励みます。



### 四階南病棟紹介

四階南病棟は、平成十五年十二月より介護病棟から療養病棟に移行しています。

療養病棟に移行してからは、経営栄養の患者様が増え、患者数五十名のうち多い時で二十一名もいらつしゃいました。

現在は、十五名程で推移しています。そのため当病棟では、寝たきりの患者様に対しては、褥瘡の発生を限りなくゼロに近づけるように、努力いたしております。又、車椅子に乗りしている患者様に対しては、転倒・転落事故を防ぐためのケアが出来ることを目標としており、スタッフ一同、目標達成のために力を合わせ、個性のある看護・介護を行っています。

課長の「今月の褥瘡発生は何名」「転倒した患者様の対応策は」等の質問が飛び交つたスタッフ一人一人が自分の行った介護・看護に責任意識が芽生え、特徴ある四階南病棟のアウトホームな雰囲気の中に、仕事の厳しさもただよっています。

今後は、患者様・ご家族様からの要望を受け入れ、安心して療養出来るよう、又、病棟の勤務者に対しては、やる気のでる生き生きとした明るい職場作り、励みたいとスタッフ一同考えています。

### 四階南病棟 スタッフ一同

### ご意見箱

協立温泉病院では、病院ご利用の皆様へのサービス向上の目的で「ご意見箱」を各階に設けています。患者様及びご家族様の、ご意見・ご要望を遠慮なくお聞かせ下さい。

平成16年5月1日から平成16年10月末日までにお寄せ頂きましたご意見の一部を、ご紹介させていただきます。

#### ご意見 その一

お見舞いに来る人が、座る椅子を病室に置いてください。エレベーターを、誰でも使えるようにしてください。

#### お答え

車椅子で移動される患者様のために、病室には出来るだけ物を置かないようにしております。椅子が必要であれば、詰所の方でいつでも貸出させていただきますので、お気に声をかけてください。

#### ご意見 その二

土曜日に車で見舞いにくるが、清掃の業者が駐車場に多く、大きい車なので奥に止めてほしい。

#### お答え

ご迷惑をおかけしております。清掃業者に、病院の奥の職員用駐車スペースに、詰め込みで駐車する様に指導し、徹底するように致します。

#### ご意見 その三

駐車場の料金ですが、家族の見舞いは長時間に及びます。何とかもう少し安くならないものでしょうか？

#### お答え

毎日お見舞いに来られますようで、駐車料金があまりにも高くなるようでしたら、病棟課長にご相談いただけますでしょうか？

当院職員と同様に一ヶ月単位で駐車場を契約して頂く等、ご相談に乗らせて頂きます。

【貴重なご意見、誠にありがとうございました。】



### 夏祭り

患者サービス関連の行事として、温泉病院恒例の夏祭りが、平成十六年八月六日(金)午後一時三十分から、午後三時の間、盛大に実施されました。



### トピックス

### 第三回 シックスシグマ発表会において、温泉病院チームが最優秀賞を受賞

医療法人協和会合同の第三回シックスシグマ発表会が、平成十六年十一月十三日、千里中央の「よみうり文化ホール」において実施されました。

参加施設は十一施設、発表演題数は、十三演題で参加者は、六百人を越える盛況の中、午後二時木曾理事長の開会の挨拶の後に、聖徒病院チームの発表に始まり第二協立病院チームの発表まで、一演題の発表時間八分という限られた時間にもかかわらず、各チーム熱のこもった素晴らしい発表に、参加者も熱心に耳を傾けていました。

我が温泉病院チームは、「温泉戦隊つくんこレンジャー」のチーム名を掲げ第十一番目に登場、院内の残業に、最も影響を受ける保育所への絞りを、継続できる改善を目標に、時差出勤・残業日の設定・ノー残業デーの実施に取り組み残業時間の削減の成果について発表いたしました。

第一部の発表会に引き続き、第二部の懇親会・表彰式におきまして、我が温泉病院チームが、念願の最優秀賞を受賞し、副賞賞金二十万円を獲得いたしました。

十一月十九日、全体朝礼時全職員に発表メンバーの紹介と、「最優秀賞の賞状」・「副賞賞金」が披露され、盛大な拍手で祝福されました。

発表チームのメンバーは、次のとおりです。

- ・病院長：村上英二
- ・事務部：石倉喜久美・細田玄俊
- ・看護部：和田伸子・橋本みつよ
- ・保育所：杉河典子・山田多加
- ・パラ科：法橋純子・宮本 均
- ・PT科：福島剛治

医事課 課長 石倉喜久美



### 【編集後記】

今年の夏には、アテネオリンピックが開催され、日本チームはメダルラッシュで大変盛り上がりしました。一方、九月から十月にかけて発生した大型の台風が次々日本に上陸し各地に大きな被害をもたらしました。

そのよつな中、十月二十三日には、新潟県中越地方に、マグニチュード六強の地震が発生し、多くの方の尊い命が奪われ、家屋の倒壊や山崩れがけ崩れ、道路の損壊箇所も多数起り、いまだに避難所生活を余儀なくされている被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

今から十年前の阪神・淡路大震災を体験した私たちにとりましては、他人事とは思えません。

当院をご利用頂いております、患者様及びご家族様並びに地域にお住まいの皆様は、協立温泉病院を知って頂きたいと思ひ、温泉病院だよりを、年三回発行しております。

今回は、「医療相談室」の名称変更及びシリーズ特集病棟紹介記事と「病院理念」患者様の権利・看護部の理念を一面にそれぞれ掲載しました。

患者サービス委員会主催の「夏祭り」の関連記事、並びにシリーズ特集病棟紹介記事を、又、ニュース速報として、「第三回シックスシグマ発表会」についてを、一面にそれぞれ掲載し「温泉病院だより」第八号を発行いたしました。

なお、広報紙の記事につきまして、「ご感想」「ご要望等」「ご意見をお寄せ下さい」次号、編集業務の参考とさせていただきます。

平成十六年十一月 編集長